

# 中国古代都市の実像を求めて —文献史学と考古学の間で—

名古屋大学最終講義  
江村治樹  
平成24年3月6日

2012/3/6

1

## 1 古代都市への興味

①「侯馬盟書考」(『内田吟風博士頌寿記念東洋史論集』1978年)

盟誓の場所: 晋都新田(外郭の想定)  
→都市郊外での盟誓

②京都大学中央アジア考古調査隊(イラン、アフガニスタン)1978年7月~11月

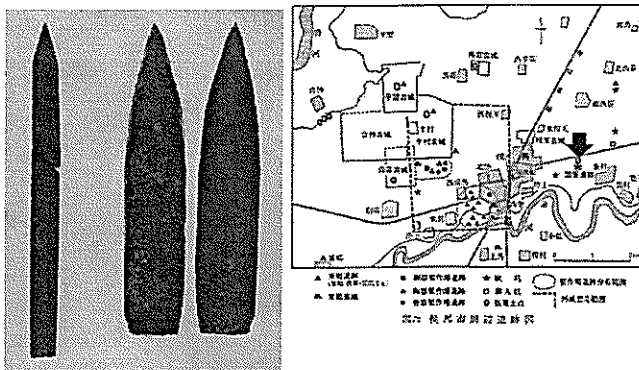
都市遺跡の見学; ペルセポリス、パルフ、  
シャリゴルゴラ他

タパスカンドルの発掘; カーブル北郊、7世紀のインド文化の影響を受けた都市遺跡

2012/3/6

2

## 侯馬盟書と晋都新田

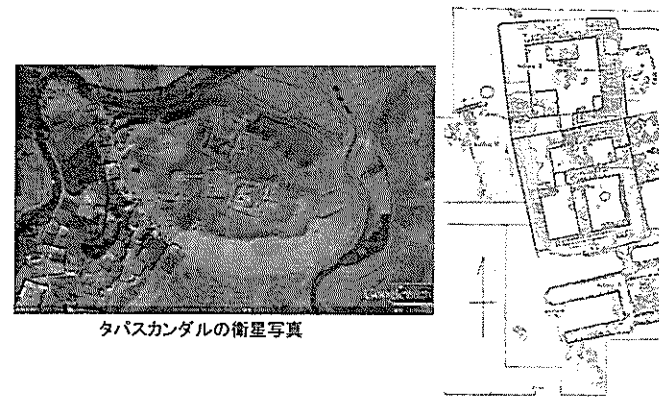


山西省文物工作委员会『侯馬盟書』(文物出版社、1976年)

2012/3/6

3

## タパスカンドルの発掘(1)

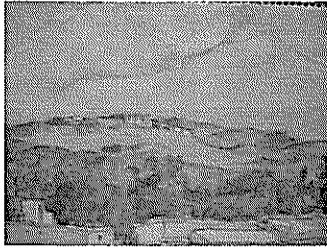


タパスカンドルの衛星写真

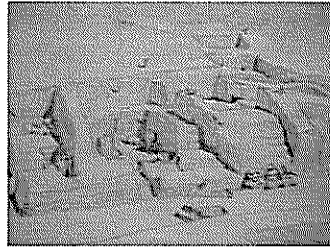
2012/3/6

4

## タバスカンドルの発掘(2)



タバスカンドル遠望



タバスカンドル住居址発掘

2012/3/6

5

## 2 戦国時代の都市の特質

### ①戦国都市に対する理解

\* 戦国時代の都市発達は共通認識

経済都市説(経済発展にともなう都市の発達):

宇都宮清吉「西漢時代の都市」

(東洋史研究11-4、1951年)

農業都市説(専制権力による首都の巨大化):

宮崎市定「戦国時代の都市」

(『東方学会創立十五周年記念 東方学論集』

1962年)

伊藤道治「先秦時代の都市」(研究(神戸大学)

30、1963年)→現在でも主流

2012/3/6

6

### ②「戦国三晋都市の性格」(名古屋大学文学部 研究論集95、1986年)

- 1980年代になり戦国都市遺跡の事例の増加
  - 分布図の作成;三晋地域に国都以外も都市発達
  - 文献史料とも一致

『戦国策』趙策三;「今千丈之城、万家之邑、相望也」

『史記』魏世家;「所亡於秦者、山南山北、河内河外、大県数十、名都数百」

#### ○戦国都市の構造

内城(宮殿・官署)、外郭(住居・製作場・市)

#### ○三晋都市の独立性

出土文字資料;都市の兵器製造、貨幣発行

文献史料;上党の民の事例(『戦国策』趙策一)/

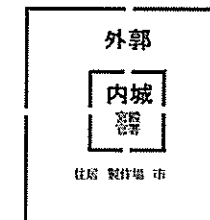
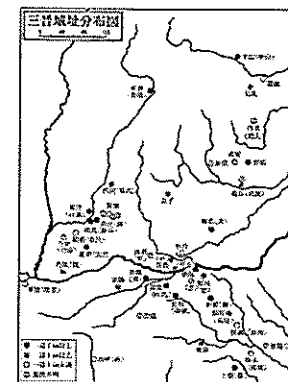
都市反乱(『史記』に見える曲沃、陝、安邑、屯留)→秦の支配に対する抵抗

\* 三晋都市住民は専制権力に従属的ではない

2012/3/6

7

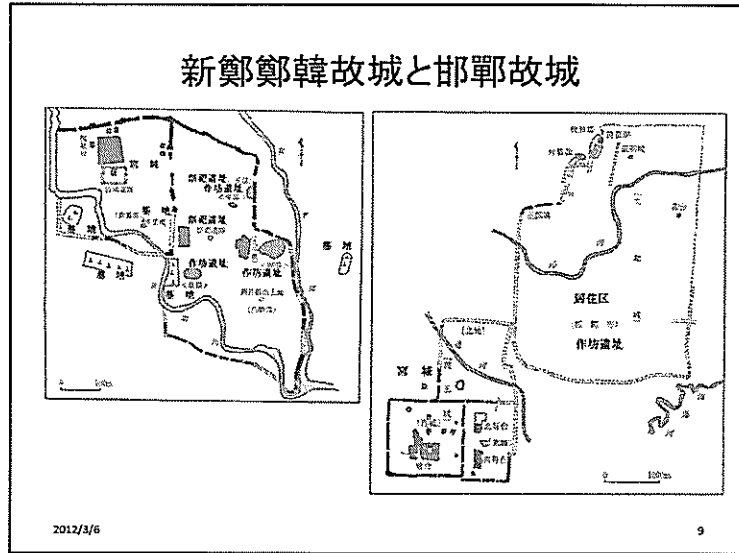
### 三晋都市遺跡分布図(1986年作成) と戦国都市の構造



戦国都市模式図

2012/3/6

8



### ③「戦国時代の都市とその支配」(東洋史研究 48-2、1989年)

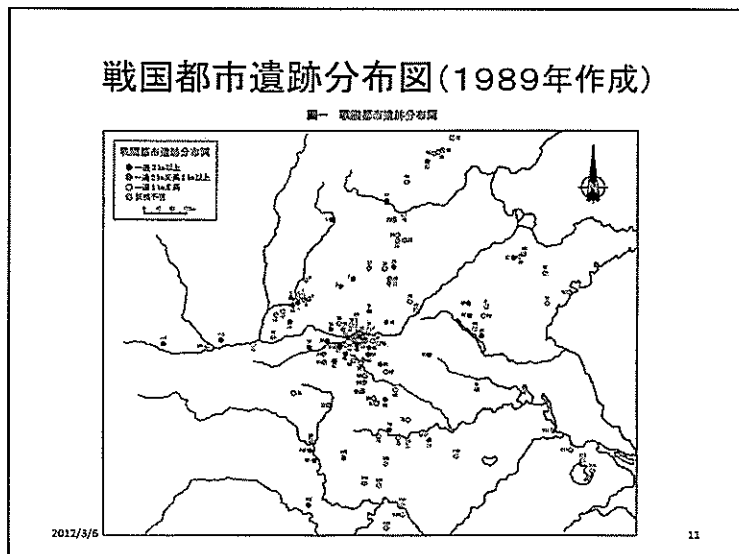
○都市遺跡分布図を全国に拡大→都市発達の地域的片寄り発見

黄河中流域: 巨大都市の発達(経済発展による都市の独立性)

周辺地域: 国都以外は都市未発達(専制権力の発達、都市の権力への従属性/秦の中央集権的兵器製造、周辺諸国の統一貨幣)

\* 宇都宮説、宮崎説は一部を一般化→秦漢帝国の形成は両者を見据えて考える必要

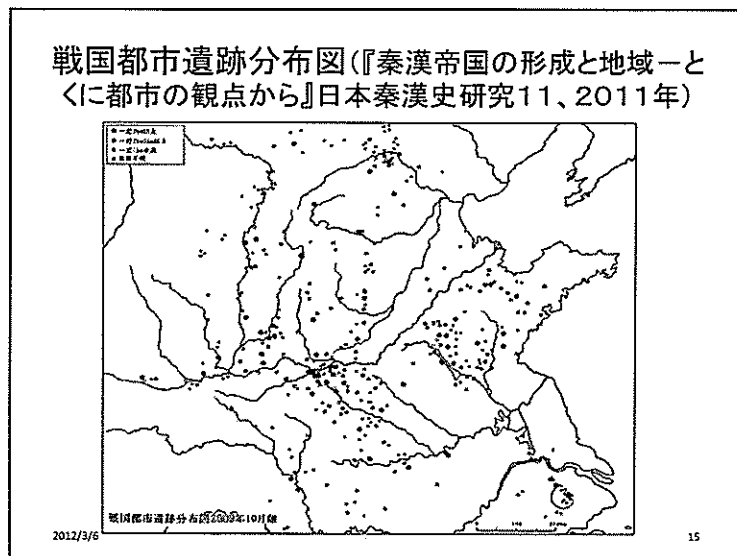
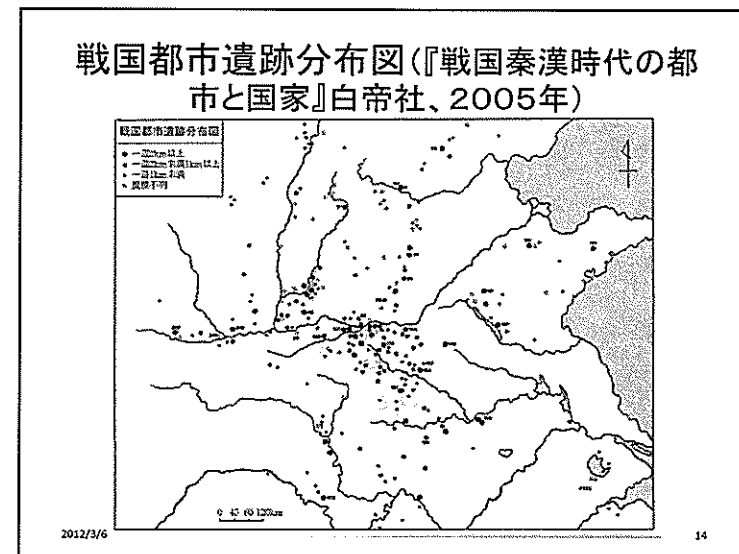
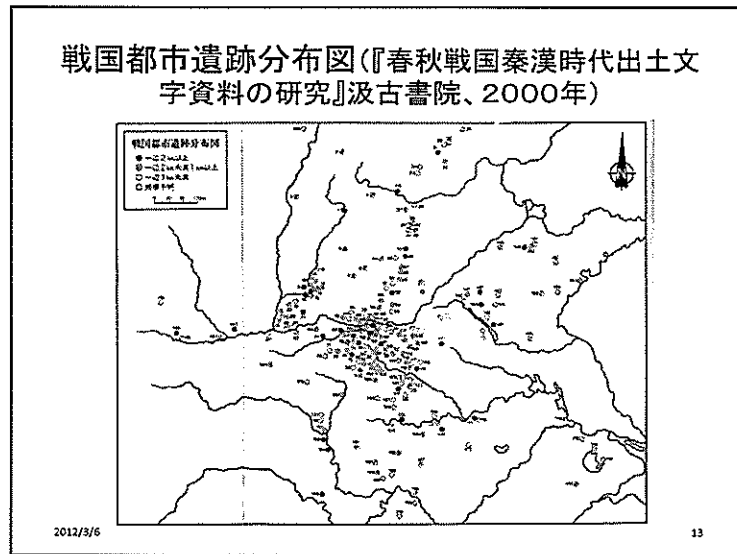
2012/3/6 10



### 戦国諸国の青銅兵器鑄造機構表と発行貨幣表

兵器鑄造機構表			貨幣鑄造機構表			
中央、地方の別	製造品名	製造責任者	製造者	発行貨幣	貨幣種類(銭文種類/貨幣)	
秦	中央	天子(+史)	史(官) (上、中、下等)	史	布	布幣
	地方	郡守(+司馬)	史、右、左、史(史)	史(史)	布	布幣
魏	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣
趙	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣
楚	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣
燕	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣
韓	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣
齊	中央	相国	史、右、左、史	史	布	布幣
	地方	(一) 史	史、右、左、史	史	布	布幣

2012/3/6 12



### 3 中国古代都市形成史論に向けて — 殷周都市の解明 —

①「古代都市社会」(『殷周秦漢史の基本問題』汲古書院、2001年)←1998年  
 \* 都市の時代=殷周～戦国秦漢時代  
 二段階の都市展開  
   第一段階: 殷周時代(支配の中心としての政治的、軍事的、宗教的側面顕著)  
           → 都市社会未成立  
   第二段階: 戦国秦漢時代(経済的側面増加、城郭内に都市社会成立)  
           → 都市住民の独立性

2012/3/6 16

②「河南竜山・二里头・殷周都市の特質-2011年、中国古代都市遺跡調査報告」(名古屋大学文学部研究論集・史学58、2012年)

第一段階の都市の理解:新資料の増加→前論の修正の必要、とくに支配権力と住民の関係

殷代:偃師商城、鄭州商城、殷墟(鄭若葵;族邑説、王震中;族居説)

→城郭内や周辺の住民の性格と位置づけ

西周代:洛陽成周(周人墓と殷人墓=殷頑民)

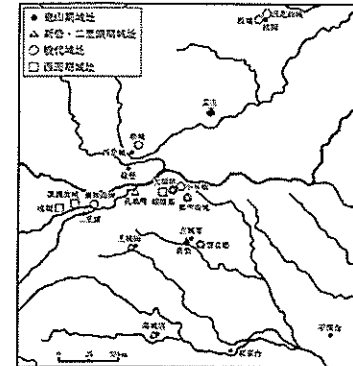
曲阜魯故城(甲組=殷人墓、乙組=周人墓/『左伝』(亳社と周社、殷民六族)→城郭内に支配氏族と先住被支配氏族の居住(封建制の問題)

第二段階への展開過程が課題:氏族制の解体の問題

2012/3/6

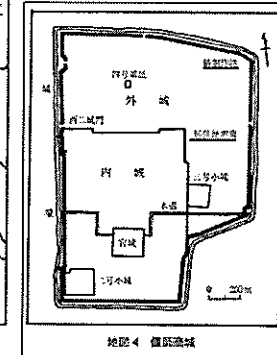
17

河南竜山・二里头・殷周都市遺跡地図と偃師商城



地図1 河南竜山・二里头・殷周都市遺跡地図

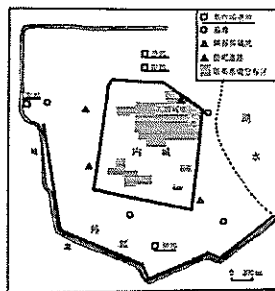
2012/3/6



地図4 偃師商城

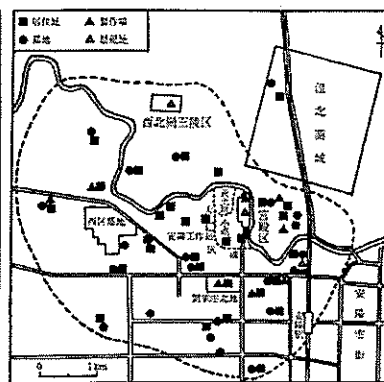
18

鄭州商城と殷墟



地図6 鄭州商城

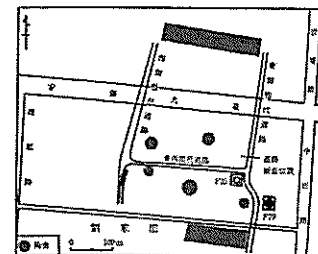
2012/3/6



地図8 殷墟と濼北商城

19

殷墟劉家庄北地発掘現場(1)  
(2011年8月調査)



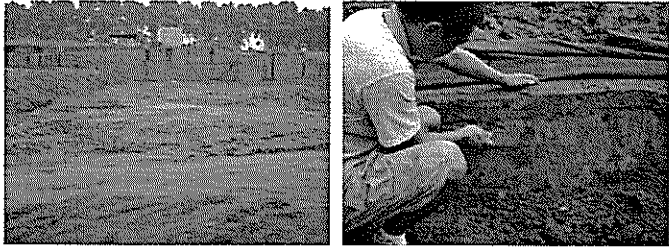
地図9 劉家庄北地殷代遺跡

2012/3/6



20

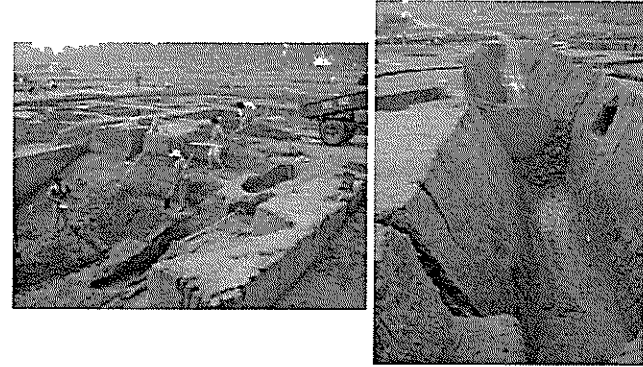
### 殷墟劉家庄北地堯掘現場(2)



2012/3/6

21

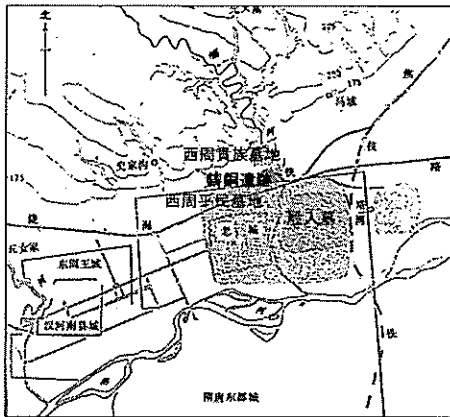
### 殷墟劉家庄北地堯掘現場(3)



2012/3/6

22

### 洛陽成周(洛邑)

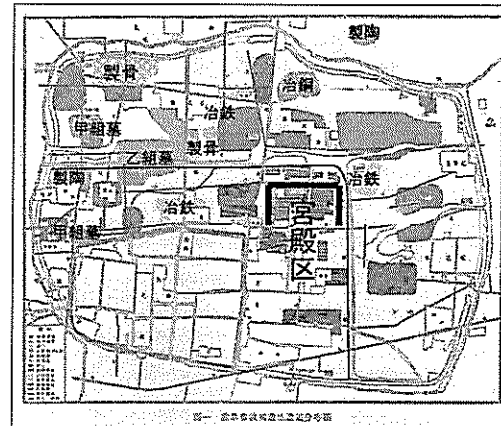


2012/3/6

叶万松等「西周洛邑城址考」(华夏考古1991-2)

23

### 曲阜魯国故城



2012/3/6

山東省文物考古研究所等編《曲阜魯國故城》(齊魯書社、1982年)

24